



# 創造

お健やかに新春をお迎えのことと存じます  
皆様にはいつも佐敷小学校と温かく見守っていただき、厚くお礼申し上げます  
本年も「地域に立つ」学校として  
一歩前進できるよう  
精一杯努めてまいります  
皆様にとりまして  
幸多き一年になりますよう  
心よりお祈りいたします

佐敷小学校職員一同



今日から三学期がスタートしました。引き続き感染防止に留意しながら、一年間のとめと次年度の準備をすることになります。始業式の中で、卒業を控えた六年の藤井結稀奈さんは「六年生全員で、もっと元気よく笑顔で挨拶をして、佐敷小学校全体に広げ、私たちの想いを残していきたい。」と三学期の抱負を述べました。

二学期の終業式にサプライズで登場したくまモンに負けないよう、三学期も元気いっぱい頑張りますよう。



くまモンとサプライズ

学校だよりやホームページ等でお伝えしましたように、これまで多くの学校や企業、各種団体の皆様からたくさんのご支援をいただきました。その中で、各学校の児童会から頂戴しました支援金の使途については、本校の児童会に考えさせました。その結果、「自分たちの感謝の思いと決意を表すものをつくりたい」という意見が出ました。形としてできあがったのが、上の横断幕です。町道沿いのフェンスと校舎二階のペランダに掲示することにしていきます。佐敷っ子たちは「感謝(の気持ち)を忘れず！」皆さんの応援を力にかえて(一歩一歩)前進します!!」を指標とし、さらに挑戦します。大津小学校、菊之池小学校、河原小学校の児童の皆さん、心のこもった支援金をいただきありがとうございます。



# 専科担当の思い



専科とは、中学校のように特定の教科を一人で担い、専門的な指導を行うことをいいます。本校では、音楽(全学年)と理科(3学年以上)を採用しています。

音楽は学習ではありますが、私は子どもたちが生涯において、「音を楽しむ」ことで少しでも生活を潤いのあるものとしたり、「音楽に親しむ」ことで豊かな情操を養うことができると願っています。授業の中での歌唱指導では、きれいな響きのある声で歌うことを目指しています。1年生の子どもでも発声の仕方を理解すると、少しずつきれいな響きのある声へと変わっていきます。また、リコーダーや鍵盤ハーモニカでは、舌を上手に使うことで音の吹き始めが明瞭になり、息を吹き入れる強さや速さを調整することで、優しい音色になったり、元気な音色になったりします。そこを子どもたちと「あーでもないこうでもない」と試しているうちに、とてもきれいな響きになったり、音色になったりします。その瞬間、教室中が何とも言えない気持ちのいい空気に包まれます。佐敷小学校の子どもたちはとても素直で頑張り屋さんなので、歌唱も器楽も上手で聴いてとても癒されます。また、そのきれいな音色に目を輝かせている子どもたちの姿を見ると、また癒されるのです。これからも子どもたちと美しい音楽を奏でたり聴いたりしながら音を楽しんでいきたいと思えます。 音楽担当 田中 美紀子



田中教諭



福田教諭

12月7日の朝刊の一面は「はやぶさ2カプセル帰還」でした。これに関連する内容が6年生の理科の教科書に「2014年に『はやぶさ2』が打ち上げられ、2018年に天体「リュウグウ」に到着し、2020年にそのかけらを持ち帰る予定です」と載っています。この学習は9月だったので「いつ頃だろうか、楽しみだね」と子どもたちと話しました。7日は教科書に載っていることを実際に見聞きした感動的な日だったので、掲載された新聞を見せ、歴史的偉業を成し遂げた日本の研究者の功績を紹介しました。理科では、観察や実験などを行い、問題解決の力を養っていきます。その観察や実験が単なる楽しいだけの活動にならないように、どんな問題を解決するために行うのか、ねらいをはっきりさせて取り組みます。そして、結果からわかることを考え結論を出していきます。その結論を生活と関連させて考えられるようになってほしいというのが私の願いです。そのために、新聞やテレビなどで理科に関する内容があれば、できるだけ子どもたちに紹介をしています。夜、寒空の中、星を見上げていたり、いろいろなものを磁石にくっつけたりしていたら、それは学習意欲旺盛な証拠です。どうか、温かく見守ってください。 理科担当 福田 美佐子